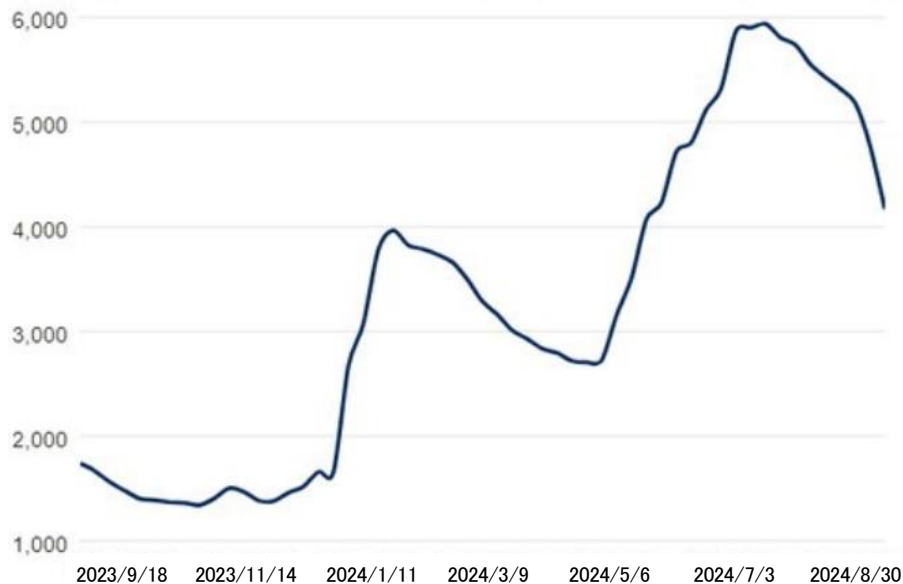


海上コンテナ運賃 総合指数が下落

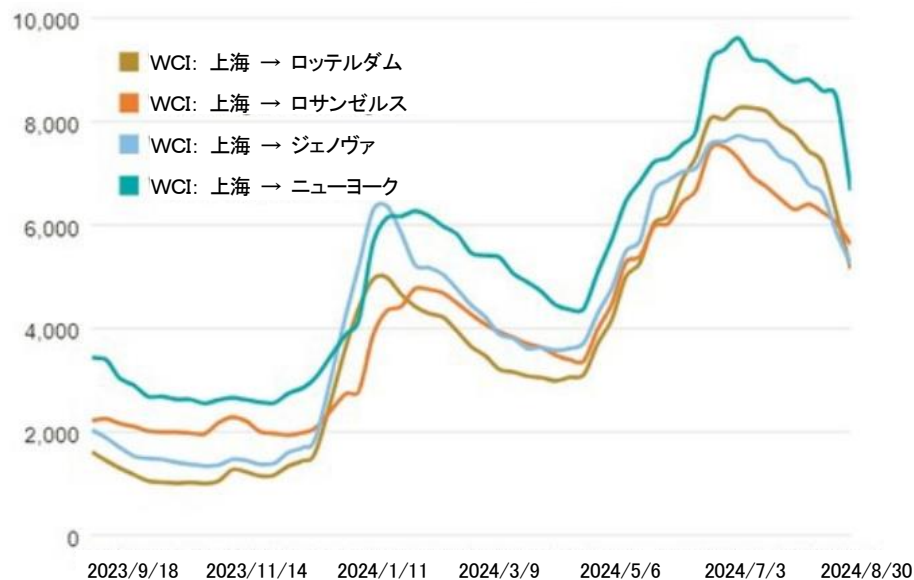
FreshPlaza 2024年9月13日

ドリュエリー社世界コンテナ指数(WCI)の総合指数は、今週13%下落し、40フィートコンテナ当たり4,168ドルとなった。

ドリュエリー社世界コンテナ指数(WCI) - 2024年9月12日(米ドル/40フィートコンテナ)



ドリュエリー社世界コンテナ指数(WCI) 上海発(米ドル/40フィートコンテナ)



2024年9月12日(木)の詳細な評価

- 最新のドリュエリーWCI 総合指数は40フィートコンテナ当たり(以下同じ)4,168ドルで、前回のパンデミックによるピークであった2021年9月の1万377ドルを60%下回っているが、2019年(パンデミック前)の平均である1,420ドルより193%高くなっている。
- 年初来の平均総合指数は4,128ドルで、10年平均の2,818ドル(2020年から2022年のコロナ禍で膨らんでいる)よりも1,310ドル高くなっている。

- 上海からニューヨークへのスポット運賃は21% (1,790ドル) 急落し、6,661ドルとなった。同様に、上海からロッテルダムへの運賃は17% (1,067ドル) 下落し5,152ドルとなった。上海からジェノヴァへの運賃は10% (586ドル) 下落し、5,256ドルとなった。また、ロッテルダムからニューヨークへの運賃は9% (201ドル) 下落して2,011ドルとなった。さらに、上海からロサンゼルスへの運賃は、7% (403ドル) 下落して5,627ドルとなった。ニューヨークからロッテルダムへの運賃は4% (28ドル) 低下し704ドルとなった。ロッテルダムから上海までの運賃は1% (6ドル) 縮小し606ドルとなった。逆に、ロサンゼルスから上海へのスポット運賃は、1% (4ドル) 上昇して718ドルとなった。荷主は、10月に予定されているILA(米国東海岸の港湾労働者組合)のストライキを避けるため米国東海岸から西海岸に貨物を移動させており、その結果、需要が減少している。これにより、東海岸のスポット運賃は21%と大幅に低下した。ドリュエリー社は、需要が弱いと見られるため東西航路の運賃が今後数週間でさらに低下すると予想している。

スポット運賃、航路別

航路	航路コード	2024/8/29	2024/9/5	2024/9/12	対前週比(%)	対前年比(%)
総合指数	WCI-COMPOSITE	\$5,181	\$4,775	\$4,168	-13% ▼	167% ▲
上海 - ロッテルダム	WCI-SHA-RTM	\$7,204	\$6,219	\$5,152	-17% ▼	297% ▲
ロッテルダム - 上海	WCI-RTM-SHA	\$622	\$612	\$606	-1% ▼	25% ▲
上海 - ジェノヴァ	WCI-SHA-GOA	\$6,611	\$5,842	\$5,256	-10% ▼	210% ▲
上海 - ロサンゼルス	WCI-SHA-LAX	\$6,248	\$6,030	\$5,627	-7% ▼	160% ▲
ロサンゼルス - 上海	WCI-LAX-SHA	\$710	\$714	\$718	1% ▲	-14% ▼
上海 - ニューヨーク	WCI-SHA-NYC	\$8,591	\$8,451	\$6,661	-21% ▼	120% ▲
ニューヨーク - ロッテルダム	WCI-NYC-RTM	\$743	\$732	\$704	-4% ▼	-4% ▼
ロッテルダム - ニューヨーク	WCI-RTM-NYC	\$1,908	\$2,212	\$2,011	-9% ▼	28% ▲